

【校訓】 自ら学び 互いにみがこう	学校教育目標 「自分の可能性を信じ、自ら学び、自ら鍛える生徒の育成」
	道徳教育の重点目標 1 思いやりの心を持ち、互いに認め合う態度を育成する。 2 夢や目標を掲げ、粘り強く努力する態度を育成する。 3 自他の生命を尊重し、弱いものをいたわり、美しいものに感動する豊かな心を育てる 4 伝統と文化を尊重し、地域社会の発展に貢献する態度を育成する。
	道徳教育研究主題 考え、議論する道徳授業の実践

学年別重点目標		
第1学年	第2学年	第3学年
1. 互いを認め合い、助け合うことにより、望ましい人間関係を育てる。 2. 基本的な生活習慣を身に付け、礼儀正しく行動する。 3. 互いの生命を大切にし、思いやりの心を育てる。 4. 自主的に考え、行動する。	1. 互いを認め合い、励まし合って行動する。 2. 自分の生き方を真剣に考えようとする。 3. 感謝の心を持ち、時と場所、相手を考えた言動や行動をする。 4. 社会の一員である自覚を深め、学校生活に生かす。	1. ボランティア活動を推進し、勤労・奉仕の心を育てる。 2. 進路指導の充実を目指し、将来の生き方について考えさせる。 3. 自己肯定感や自己有用感の高まりから、自尊感情を高める。 4. 最上級生としての役割と責任を自覚し、自ら進んで実行する態度を育てる。

教科指導 ・各教科の目標を達成する。 ・各教科の内容に即した道徳性の啓発をする。 ・道徳指導目標及び計画との有機的な関連指導をする。	道徳の時間 ○人間としての生き方について自覚を深めさせる道徳の授業の実践 ・内面に根ざした道徳性を育てる。 ・実践意欲を高める指導法の工夫。 ・問題解決的な学習。 ・「新しい道徳」（教科書）の活用。	特別活動 ①学級活動 ・健全な生活態度の育成、基本的な生活習慣の定着、望ましい人間関係の構築を通じて道徳的実践意欲と態度を育てる。 ・生徒の自己実現を目指し、自主的・協力的活動の機会を道徳的実践の場とする。 ②生徒会活動 ・生徒の自発的・自律的な活動を通して、学校生活の充実や改善 ・向上を図り、道徳実践の場とする。 ③学校行事 ・行事への参加を通して、創意を生かした自主的・実践的意欲と態度を育てるとともに、協力・責任・勤労の大切さを体得させる。	
	家庭・地域 ・意見を収集し、保護者や地域の人々の意識や関心を高める。 ・広報活動を充実させ、共通理解を深め、さらに教育力を高める。 ・保育園・幼稚園・小学校との連携を深め、一貫した道徳性を養う。 ・地域の方をGTとして迎えるなど、地域との連携を図りながら教育力を高める。 （「新しい道徳」教科書の周知広報）		
	環境の整備 ・人的環境の醸成 ・生きた掲示教育の充実と整備		人権・同和教育 平和教育 ・自己的人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を育てる。 ・平和の尊さを理解し、平和を守ろうとする意識・意欲・態度を育てる。